

主な輸出先国	米国、台湾、香港等(2023年)	輸出実績	90t (2023年)
対象となる地域	大分県大分市・別府市・中津市・日田市・佐伯市・臼杵市・竹田市・豊後高田市・杵築市・宇佐市・豊後大野市・由布市・国東市・速見郡日出町・玖珠郡九重町・玖珠町		

輸出産地の概況

- 輸出にあたって畜産物コンソーシアムを設立し、食肉処理施設である株式会社大分県畜産公社、全国農業協同組合連合会大分県本部、大分県食肉事業協同組合連合会、生産者、流通事業者及び大分県が参画している。
- 平成25年6月にタイ向けに初めて牛肉が輸出され、継続的に輸出に取り組んでいる。



米国食品展示会への出展



輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- タイをはじめ、米国、台湾、香港など計12か国・地域の牛肉輸出施設認定を取得している。
- 今後EU向け牛肉輸出施設認定を取得を目指す。



アピールポイント

- 餌に米やビール粕を使用するなど、餌にこだわった農場で飼育された肉質4等級以上のものを本県ブランド和牛「おおいた和牛」として認定しており、この「おおいた和牛」を中心に輸出している。
- 赤身のうま味と脂身のまろやかな口解けなど、赤身と脂身のバランスの良さ、品質の高さが海外で高く評価されている。

台湾での試食会